



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東 大

上場会社名 昭和産業株式会社

コード番号 2004 URL <http://www.showa-sangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡田 茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員総務人事部長

(氏名) 笠井 敏雄

TEL 03-3257-2182

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	113,054	5.7	3,879	0.7	4,350	4.7	2,628	64.4
23年3月期第2四半期	106,943	0.3	3,851	△39.0	4,153	△30.4	1,598	△51.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,782百万円 (245.5%) 23年3月期第2四半期 805百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	15.96	—
23年3月期第2四半期	9.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	145,917	51,902	33.7	298.75
23年3月期	140,645	50,277	33.9	289.73

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 49,214百万円 23年3月期 47,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	232,000	8.6	6,900	32.1	7,100	23.4	3,700	790.4	22.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	164,849,898 株	23年3月期	164,849,898 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	113,896 株	23年3月期	107,350 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	164,739,810 株	23年3月期2Q	169,160,898 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

なお、業績予想に関する事項は添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間の我が国経済は、東日本大震災とその後の原発事故や電力不足に加え、欧州の金融不安や米国の経済減速懸念などの影響もあり、依然として厳しい環境にありました。

食品業界におきましても、経済の先行き不透明感により節約志向や低価格志向が消費者に浸透してきたことに加え、原料穀物相場が、小麦、大豆、菜種、とうもろこしの全てにおいて高値で推移するという非常に厳しい環境にありました。

このような状況の中、当社グループは、2009年（平成21年）よりスタートした「中期経営計画09－11」の 5 つの基本戦略「①財務体質の強化」「②成長分野への注力」「③基盤事業の再成長」「④グループシナジーの追求」「⑤C S R 経営の推進」の下、具体的な施策の推進に努めてまいりました。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は113,054百万円と前年同期に比べ6,111百万円（5.7%）の増収となりました。営業利益は3,879百万円と前年同期に比べ27百万円（0.7%）の増益、経常利益は4,350百万円と前年同期に比べ197百万円（4.7%）の増益、四半期純利益は2,628百万円と前年同期に比べ1,029百万円（64.4%）の増益となりました。

なお、東日本大震災により、当社の鹿島工場及び船橋工場が被災しましたが、本年 3 月末までに通常操業に復旧したため、当第 2 四半期連結累計期間において、震災による生産活動への直接的影響はありません。

セグメント別の概況

①製粉事業

業務用小麦粉及び業務用プレミックスの販売数量につきましては、提案型の営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、輸入小麦の政府売渡価格が本年 4 月に平均 18%引き上げられたことを受け、小麦粉製品の価格改定を本年 6 月下旬に実施しました。

これらの結果、製粉事業の売上高は27,802百万円と前年同期に比べ260百万円（0.9%）の増収、営業利益は982百万円と前年同期に比べ562百万円（36.4%）の減益となりました。

②油脂事業

業務用食用油の販売数量につきましては、消費低迷の影響はあったものの、顧客ニーズを捉えた営業活動を行ったことにより、前年同期並みとなりました。業務用天ぷら粉及び業務用パスタの販売数量につきましては、消費低迷の影響などにより、前年同期を下回りました。販売価格につきましては、原料穀物価格の上昇に応じた適正価格での販売が浸透してきたことにより、前年同期を上回りました。

これらの結果、油脂事業の売上高は25,502百万円と前年同期に比べ2,285百万円（9.8%）の増収、営業利益は1,327百万円と前年同期に比べ44百万円（3.5%）の増益となりました。

③ぶどう糖事業

糖化製品の販売数量につきましては、大手顧客との取り組み強化により、前年同期を上回りました。コーンスターチの販売数量につきましては、東日本大震災で大手得意先が被災した影響により、前年同期を下回りました。糖化製品及びコーンスターチの販売価格につきましては、昨年からの原料とうもろこしの価格高騰による価格改定が遅れておりましたが、値上げが浸透したことから、前年同期を上回りました。

これらの結果、ぶどう糖事業の売上高は16,285百万円と前年同期に比べ1,680百万円（11.5%）の増収、営業利益は448百万円と前年同期に比べ338百万円（305.9%）の増益となりました。

④家庭用食品事業

家庭用食用油及び家庭用プレミックスの販売数量につきましては、夏期節電の影響により揚げ物調理の機会が減ったことで需要が減少した製品がありましたが、ホットケーキミックス、お好み焼粉及び新製品「レンジでチンするから揚げ粉」の販売が好調であったことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、個人消費の冷え込みにより原料穀物の上昇に見合う価格改定が十分に進みませんでした。

これらの結果、家庭用食品事業の売上高は12,143百万円と前年同期に比べ60百万円（0.5%）の減収、営業利益は461百万円と前年同期に比べ46百万円（9.1%）の減益となりました。

⑤飼料事業

配合飼料の販売数量につきましては、養鶏用飼料の販売が減少したことにより、前年同期を下回りました。鶏卵の販売数量につきましても、東日本大震災の影響により、東北地区における販売数量が減少したため、前年同期を下回りました。配合飼料の販売価格につきましては、原料とうもろこしの価格高騰を反映しての値上げが浸透したことにより、前年同期を上回りました。鶏卵の販売価格につきましても、鶏卵相場の上昇により、前年同期を上回りました。

これらの結果、飼料事業の売上高は28,852百万円と前年同期に比べ2,182百万円（8.2%）の増収、営業利益は354百万円と前年同期に比べ329百万円（1,314.4%）の増益となりました。

⑥倉庫事業

倉庫事業につきましては、商社や主要ユーザーとの取り組み強化により、とうもろこしの取扱い数量が増加しましたが、平成22年10月に輸入小麦の即時販売方式が導入されたことにより、保管料収入は前年同期を下回りました。

これらの結果、倉庫事業の売上高は1,516百万円と前年同期に比べ182百万円（10.7%）の減収、営業利益は373百万円と前年同期に比べ17百万円（4.4%）の減益となりました。

⑦不動産事業

不動産事業につきましては、オフィス用賃貸ビルの賃料収入はほぼ前年同期並みとなりましたが、商業施設用ビルの賃料収入が減少しました。

これらの結果、不動産事業の売上高は830百万円と前年同期に比べ39百万円（4.6%）の減収、営業利益は503百万円と前年同期に比べ34百万円（6.4%）の減益となりました。

⑧その他

保険代理業、自動車等リース業、運輸事業等をあわせたその他事業の売上高は121百万円と前年同期に比べ13百万円（10.1%）の減収、営業利益は11百万円と前年同期に比べ21百万円（65.7%）の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、145,917百万円と前連結会計年度末と比較して5,271百万円増加しております。主な増加要因は、現金及び預金が2,065百万円増加したこと、売上債権が増収により2,247百万円増加したこと、たな卸資産が在庫数量の増加などに伴い3,426百万円増加したこととあります。一方、主な減少要因は、有形固定資産が減価償却の実施などにより1,372百万円減少したこととあります。

負債は、94,015百万円と前連結会計年度末と比較して3,647百万円増加しております。主な増加要因は、有利子負債が3,661百万円増加したことや未払法人税等が1,519百万円増加したこととあります。一方、主な減少要因は、設備関係債務が1,753百万円減少したこととあります。

純資産は、51,902百万円と前連結会計年度末と比較して1,624百万円増加しております。主な要因は、四半期純利益2,628百万円の計上による増加、期末配当金の支払による1,153百万円の減少であります。

(連結キャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益4,176百万円、減価償却費3,685百万円、法人税等1,101百万円の還付等による資金の増加がありましたが、売上債権及びたな卸資産の増加や、法人税等414百万円の支払、災害損失504百万円の支払等があった結果、合計では4,143百万円の収入となり、前年同期に比べ1,647百万円減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得で4,470百万円の資金を使用した結果、合計では4,561百万円の支出となり、前年同期に比べ1,947百万円支出が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、フリー・キャッシュ・フローの不足分及び配当金の支払額1,153百万円等をコマーシャル・ペーパーの発行等により賄った結果、2,484百万円の収入となり、前年同期に比べ7,228百万円増加しました。

以上の結果、当第 2 四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は4,937百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,066百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第 3 四半期以降も為替や穀物の相場動向、原発事故に伴う社会不安や電力不足など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、平成23年 5 月23日に公表した平成24年 3 月期(平成23年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日)の連結業績予想につきまして変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,871	4,937
受取手形及び売掛金	30,423	32,671
有価証券	0	0
商品及び製品	7,126	8,220
仕掛品	1,061	1,391
原材料及び貯蔵品	13,371	15,373
その他	3,508	2,459
貸倒引当金	△347	△285
流動資産合計	58,016	64,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,565	29,797
機械装置及び運搬具（純額）	16,856	16,279
土地	18,861	18,847
その他（純額）	1,225	1,212
有形固定資産合計	67,508	66,136
無形固定資産		
のれん	159	138
その他	1,058	1,050
無形固定資産合計	1,217	1,188
投資その他の資産		
投資有価証券	11,229	11,327
その他	3,076	2,909
貸倒引当金	△403	△413
投資その他の資産合計	13,903	13,823
固定資産合計	82,629	81,149
資産合計	140,645	145,917
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,054	19,455
短期借入金	22,032	21,782
コマーシャル・ペーパー	7,000	13,000
1年内償還予定の社債	620	120
未払法人税等	—	1,519
賞与引当金	1,049	1,056
災害損失引当金	980	395
資産除去債務	24	—
その他	12,033	10,731
流動負債合計	62,794	68,060

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
固定負債		
社債	120	60
長期借入金	14,039	12,510
退職給付引当金	6,163	6,283
役員退職慰労引当金	250	226
資産除去債務	248	248
負ののれん	33	23
その他	6,717	6,602
固定負債合計	27,573	25,954
負債合計	90,367	94,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,778	12,778
資本剰余金	4,710	4,710
利益剰余金	29,100	30,575
自己株式	△23	△25
株主資本合計	46,564	48,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090	1,195
繰延ヘッジ損益	76	△19
その他の包括利益累計額合計	1,166	1,176
少数株主持分	2,546	2,687
純資産合計	50,277	51,902
負債純資産合計	140,645	145,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	106,943	113,054
売上原価	87,506	93,762
売上総利益	19,436	19,292
販売費及び一般管理費	15,585	15,413
営業利益	3,851	3,879
営業外収益		
受取利息	11	5
受取配当金	149	149
為替差益	150	185
負ののれん償却額	45	9
持分法による投資利益	66	55
その他	215	364
営業外収益合計	638	771
営業外費用		
支払利息	299	255
コマーシャル・ペーパー利息	1	3
その他	36	40
営業外費用合計	337	300
経常利益	4,153	4,350
特別利益		
固定資産売却益	0	—
負ののれん発生益	5	0
貸倒引当金戻入額	9	—
災害損失引当金戻入額	—	121
その他	3	—
特別利益合計	18	121
特別損失		
固定資産廃棄損	265	109
固定資産売却損	—	6
減損損失	72	2
災害による損失	—	159
投資有価証券評価損	290	16
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	292	—
その他	6	0
特別損失合計	926	296
税金等調整前四半期純利益	3,245	4,176
法人税、住民税及び事業税	1,826	1,454
法人税等調整額	△252	△53
法人税等合計	1,573	1,401
少数株主損益調整前四半期純利益	1,671	2,775
少数株主利益	73	146
四半期純利益	1,598	2,628

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,671	2,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△759	132
繰延ヘッジ損益	△79	△98
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	△26
その他の包括利益合計	△866	7
四半期包括利益	805	2,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	735	2,638
少数株主に係る四半期包括利益	69	143

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,245	4,176
減価償却費	3,590	3,685
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	292	—
減損損失	72	2
売上債権の増減額 (△は増加)	1,490	△2,256
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,904	△3,426
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,270	419
その他	296	1,304
小計	7,352	3,905
利息及び配当金の受取額	315	311
利息の支払額	△300	△257
法人税等の支払額	△1,576	△414
法人税等の還付額	—	1,101
災害損失の支払額	—	△504
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,791	4,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△1
定期預金の払戻による収入	302	2
投資有価証券の取得による支出	△19	△28
投資有価証券の売却及び償還による収入	1	2
有形固定資産の取得による支出	△3,002	△4,470
有形固定資産の売却による収入	237	40
有形固定資産の除却による支出	△88	△37
資産除去債務の履行による支出	—	△26
投融資による支出	△172	△119
投融資の回収による収入	127	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,613	△4,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△360	△560
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△2,800	5,900
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,900	△1,678
リース債務の返済による支出	△15	△22
配当金の支払額	△1,192	△1,153
自己株式の取得による支出	△475	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,744	2,484
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,567	2,066
現金及び現金同等物の期首残高	4,224	2,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,657	4,937

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							
	製粉事業	油脂事業	ぶどう糖事業	家庭用食品事業	飼料事業	倉庫事業	不動産事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	27,542	23,217	14,605	12,204	26,669	1,699	870	106,808
セグメント間の内部売上高又は振替高	177	964	848	792	5	568	46	3,402
計	27,719	24,181	15,453	12,997	26,675	2,267	916	110,211
セグメント利益	1,545	1,282	110	508	25	391	538	4,401

(単位：百万円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	134	106,943	—	106,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	787	4,190	△4,190	—
計	922	111,133	△4,190	106,943
セグメント利益	32	4,433	△581	3,851

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、自動車等リース業、運輸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△581百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、全社費用△578百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第 2 四半期連結累計期間(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							
	製粉事業	油脂事業	ぶどう糖事業	家庭用食品事業	飼料事業	倉庫事業	不動産事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	27,802	25,502	16,285	12,143	28,852	1,516	830	112,933
セグメント間の内部売上高又は振替高	187	1,052	966	611	4	646	46	3,515
計	27,989	26,554	17,251	12,755	28,856	2,163	877	116,448
セグメント利益	982	1,327	448	461	354	373	503	4,453

(単位：百万円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	121	113,054	—	113,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	759	4,274	△4,274	—
計	880	117,329	△4,274	113,054
セグメント利益	11	4,464	△585	3,879

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、自動車等リース業、運輸事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△585百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、全社費用△583百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。